

## 耳鼻いんこう科

科長 中島 務 (教授)

9E

## 身近な症例にも専門性の高い先進的治療

当科は五感のうち聴覚、嗅覚、味覚、触覚を担当し、発声と聞き取りのコミュニケーションに関与しています。

## 診療体制

病棟はAグループ（耳手術、副鼻腔内視鏡手術、睡眠時無呼吸、突発性難聴、メニエール病などの内耳疾患、炎症性疾患など担当）とBグループ（頭頸部腫瘍など担当）の2グループ制の診療体制をとっています。

## 対象疾患

耳、鼻、のどの腫瘍、炎症、奇形、外傷にかかわる疾患や、嚥下障害、頭蓋底腫瘍とも深くかかわっています。耳性めまいも守備範囲であり、めまいの鑑別に関与します。補聴器適合も行っていきます。



## 得意分野

難聴の鑑別診断（特に3テスラMRIを用いた画像診断による内外リンパ腔サイズや血液迷路関門の把握）と鼓室内薬剤投与による内耳疾患の治療を行っています。

頭頸部癌における機能温存を目指した治療を得意とします。



## 診療実績

突発性難聴、前庭水管拡大症など内耳疾患における診療実績は多数の論文業績に記されています。機能温存を目指した頭頸部腫瘍の治療や睡眠時無呼吸治療についても種々の観点からのデータを基に業績を挙げています。

## 専門外来

腫瘍外来、エコー外来、突発性難聴外来、鼻外来、睡眠時無呼吸外来、めまい外来、補聴器外来、デカ注外来（内耳疾患に対する鼓室内デキサメサゾン注入）など専門外来を設けています。

## 先進医療・研究

3テスラMRIを用いた内耳画像検査、人工内耳手術時の蝸牛血流の測定、ナビゲーション手術など先進的治療を行っています。

## 放射線科

科長 長縄 慎二 (教授)

3E

## あらゆる疾患が対象となるゆえに桁違いの年間実績

さまざまな画像診断、放射線診断技術を応用した低侵襲治療（IVR）、癌に対する放射線治療を担当しています。

## 診療体制

画像診断グループと放射線治療グループにわかれています。画像診断グループには、CT、MRI、IVR、超音波、アイソトープを担当する医師が所属しており、それぞれの専門医が検査を施行し、画像診断報告書を作成しています。

## 対象疾患

CT、MRI、核医学、IVRは炎症、腫瘍、先天異常など、全身のあらゆる疾患が対象となります。超音波は当院では乳腺疾患が中心です。放射線治療は悪性腫瘍や一部の良性疾患（ケロイド、甲状腺眼症など）が対象となります。

## 得意分野

内耳疾患のMRI診断、胆道・膵臓のCT診断、胸部画像診断、PET診断（メチオニンなどを含む）、甲状腺癌・甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法、内臓動脈瘤の血管内治療、乳腺画像診断、高精度放射線治療。

## 診療実績

2011年の検査件数は、CT38,000件、MRI17,000件、超音波3,800件、RI/PET5,600件、IVR550件です。放射線治療は860人の治療を行いました。

## 専門外来

IVRの外来を月・水・金曜日午前、甲状腺癌に対するヨード内用療法の外来を火曜日午前、甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法の外来を木曜日午後開設しています。放射線治療は毎日、専門医による外来があります。



## 先進医療・研究

内耳の高分解能MRI、仮想気管支鏡、センチネルリンパ節シンチグラフィ、FDG以外の核種によるPET、乳腺非触知病変における超音波検査の肺定位照射、前立腺癌IMRT。

